

第 3 期 IRRT (International Relations and Research Team)メンバー募集について

国際委員会では JUAM 及び会員の国際化をさらに促進することを目指して、委員会内に「JUAM International Relations and Research Team」(以下、「IRRT」という)を設置しています。このたび、下記のとおり第 3 期メンバーを募集します。国際経験や語学運用能力は一切不問です。国際化について考えてみたい会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

1 IRRT 設置の背景

国際委員会は、JUAM 及び会員の国際化を一層促すことを目的として、学会事業計画の重点課題の 1 つである「グローバル化への対応」と連動しながら活動を展開しています。協定を締結している英国 AHEP (Association of Higher Education Professionals) との関係を軸として、AHEP 総会・研究集会派遣プログラム、AHEP からの Japan Study Tour の受入れ、AHEP との共催ウェビナーの開催、さらには独自の研究会を開催してきました。

国際化は、国際経験や外国語運用能力に裏打ちされた専門的な業務である一方で、国際経験や外国語運用能力の有無を問わず、今後の大学について考えるのに役立つ視点の一つでもあります。そのため国際委員会には広い活動が求められているものの、常設委員会ならではの限界もあり、多面的な活動を十分に展開できていません。同様のニーズは、第 22 回定期総会・研究集会分科会「大学職員と JUAM の国際化」(2018 年)や「若手海外派遣事業－海外大学調査研修 研修報告書」(2019 年)でも確認されてきました。そこで、制約条件が大きくなる「研究会」ではなく、JUAM にとっても新しい形態であるチームを国際委員会内に設けて活動することが望ましいとの判断で IRRT が設置され、これまでに第 1 期と第 2 期の計 4 年間活動してきました。

2 IRRT に期待される成果

- (1) AHEP との連携に関する調査・企画・提案。提案内容は国際委員会での検討を経て、IRRT と国際委員会の協力の下での実施を目指します。
- (2) JUAM 及び会員のさらなる国際化に資する具体的な活動に関する調査・企画・提案。提案内容は国際委員会での検討を経て、IRRT と国際委員会の下での実施を目指します。
- (3) メンバー個人の関心を尊重しつつ、チームとしての成果を出すこと。
- (4) 国際業務経験や語学力の有無を問わず、IRRT の活動を通じて JUAM 会員同士のネットワークを構築・強化すること。また、メンバー個人やチームで自主的に活動をする中で、国際化に関わる業務知識の習得や国際感覚の醸成を図ること。

3 IRRT の活動内容

(1) 位置づけ

IRRT は国際委員会内に設置され、同委員会と連携しながら、メンバーが自主的に活動します。同委員会では、IRRT との連絡や調整を担う者として委員 1 名を IRRT 担当に任命します。

メンバーの関心が多岐に亘ることが想定されるため、各自の関心に応じた活動を尊重しながらチームとして活動し機能し成果を出すために、IRRT 内に Special Interest Group(以下 SIG)を複数設けることで、機動的な活動を担保します。

(2) 活動および義務

- ① 活動に際しては、ご自身が追究したい関心や課題意識を求めます。そのうえで、他のメンバーとの協働を通じて、その課題に学会活動として取り組む意欲と姿勢を重視します。チームの一員として主体的に参加し、共に探究を深めていく姿勢が必要です。
- ② 活動は、国際委員会等の指示に基づくものではなく、メンバーが自主的に進めます。国際委員会はいつでも相談等に応じますが、IRRT に活動を指示する立場ではありません。なお、アンケートやヒアリング調査、海外渡航など、一部の活動には国際委員長の事前承認が必要です。
- ③ 活動予算は国際委員会の予算から充当します。JUAM の予算執行ルールで、国際委員長の事前承認によって予算の計画及び執行をします。予算執行にあたっては、その原資が JUAM 会員の会費であることから、相応の説明責任を伴います。
- ④ チームリーダー及び各 SIG リーダーが中心となって四半期報告書を作成し、提出する必要があります。国際委員会は各報告書を回覧し、コメント等をフィードバックします。また、2 年間の活動後には最終報告書の作成・提出が必要です。最終報告書は JUAM ウェブサイトで公開し、その成果を会員に還元します。
- ⑤ 海外渡航を伴う活動においては、日本国外務省が発表する危険情報および感染症危険情報において、渡航時にいずれもレベル1以下であることが実施の前提となります。

(3) メンバーの役割

チームリーダー (1 名)	IRRT 全体をまとめるとともに、国際委員会との連絡調整において中心的な役割を担います。応募者の中から国際委員会が指名します。人材育成等の観点から、活動期間中に交代する可能性もあります。
SIG リーダー (SIG 毎に 1 名)	テーマや専門領域に応じた複数の SIG を置きます。SIG の数やテーマ、メンバーは IRRT で決めます(SIG 間の重複可)。SIG リーダーは SIG ごとに互選し、当該 SIG の活動をまとめ、チームリーダーと協働しながら IRRT の活動を推進します。

(4) 主なスケジュール(予定)

年	日にち	内容
	～7/22	応募期間
2	8 月中旬	選考結果発表
0	8 月下旬	キックオフミーティング(オンライン)
2	9/1	活動開始
5	9/6 又は 9/7	JUAM 総会・研究集会での対面顔合わせ(参加は任意)
	9/30	前半期(2025 年 9 月～翌年 8 月)の活動計画書の提出締切
2	1/15	第1四半期報告書の提出
0		
2		
6	7/31	後半期(2026 年 9 月～翌年 8 月)の活動計画書の提出

4 IRRTメンバー募集要項

任期	2年間(2025年9月1日～2027年8月31日)
応募資格	以下①～③のすべてを満たすこと ① JUAM 正会員または学生会員であり、年会費の支払いの遅滞がないこと ② 個人的に取り組みたいテーマを持って活動できること ③ ほかの IRRT メンバーと協調して活動できること ※国際業務経験や外国語運用能力は問いません。
応募期間	募集案内の公開～2025年7月22日(火)午前10:00(日本時間)
応募方法	以下の応募フォームに必要事項を記入して応募してください。 https://forms.gle/PFdkHeg76QZrtmHZ7
選考方法・ 選考方針	(1)選考方法 選考方針に基づき、国際委員が選考を行います。 選考にあたっては応募者全員とオンライン面談を実施し、志望理由などの確認を行います。面談日時は、応募締切後に連絡いたします。 (2)選考方針 - メンバーの属性や専門分野の多様性に配慮する。 - 自由応募だけで十分な数のメンバー候補者を集めることができなかった場合は、JUAM 役職者等による推薦等を行なうこともあり得るものとする。 - IRRT 第1期・第2期メンバーの再応募は妨げない。 - 国際委員会の委員との兼務も可とする。
選考結果	- 結果はすべての応募者に通知します。 - 採択されたメンバーは、後日 JUAM ウェブサイトでお名前とご所属を公表します。

5 問い合わせ先

募集に関してご不明な点などがあれば、以下の担当者までご遠慮なくご連絡ください。

(宛名)坂本

(メールアドレス)n-saka@hiroshima-cu.ac.jp

以上